

我孫子市消費者の会

お知らせ

2015年2月18日 第40期 No. 11-463

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

我孫子市消費生活展が終わりました

子どもたちに安全・安心を！

～見て・知って・確かめて～

日 時：2月14日（土）15日（日）

会 場：あびこ市民プラザ

参加者：758名

今年は2団体が初参加でした。手賀沼トラストと川村学園女子大学。特に川村学園は赤いエプロンをつけた生徒さんが役割を担ってくださいましたので、全体の雰囲気が若返り楽しい生活展になりました。中央のステージでは時間を決めて、初日は鳥谷部由美子さんのピアノ（リクエストに答えて時間延長）、2日目は、市役所職員の合唱団がきれいなハーモニーを響かせてくださいました。

今年も我孫子ショッピングプラザの入り口2ヶ所でチラシを配布しました。ショッピングプラザのご協力により、今回は私たちが交代で切れ目無く行いましたので、お買い物に来た方達、特に子ども連れに多く来場いただきました。消費生活展って何だろう？という方達に意識を持っていただくには大変有効なことと思っています。

冊子を配布します。どうぞ各団体の取り組みもご確認ください。ご来場いただいて持っているという方は、是非お友達に上げてください。

ベーキングパウダーのアルミニウム

我孫子市消費者の会としては「そのお菓子大丈夫？」というコーナーを担当し、お菓子作りに使うベーキングパウダーに「アルミ」が入っ

ている事を取り上げました。このパネルの制作時には（最近は入っていないものも販売）という程度の世の中でした。パネルの前に実物を展示しようと、前日に買いに行きましたら、＜アルミ不使用＞と表示されているものでした。前に買ってあった他のメーカーの不使用のもの、2つを展示することになりました。

業界が素早く対応してくれた事は大変嬉しいことでした。来場者にはそのことを説明し、「家庭にある古いものは確認して下さい」とお話しすることが出来ました。皆さんもご確認を！！高いものではありませんので、安全なものに買い替えましょう。

子どもの事故に気をつけて！

消費者の会の分身として生活展に参加している「くらしを良くする会」は、上記のテーマに取り組みました。その中でも消費者庁が行っている「子ども安全メール」は、今年、「千葉県消費者団体連絡協議会」の県民提案事業として行った「子ども関連商品のリコール」一覧表を展示したところ、若い親の関心が高く、とても良い啓発が出来ました。小さい子のボタン電池の飲み込み事故にも注意を呼びかけました。

3 月 定 例 会

3月2日（月）13:30～16:30

我孫子南近隣センター 8F調理室
定例勉強会 県民提案事業の報告他

4 月 定 例 会

4月6日（月）13:30～16:30

我孫子南近隣センター 8F調理室

映画「日本と原発」

日時：3月8日（日）2回上映 協力券500円

① 14：30～ ② 18：00～

（開場は30分前）

会場：あびこ市民プラザ

我孫子の方は、できるだけ夜の部にご参加ください。昼の部の終わりや夜の部の始まりに、この映画の監督、河合弘之弁護士が10分ほどお話に来てくださいます。是非この機会に。

協力券は和田にお申込みを。

千葉県電機商業組合との懇談会

2月16日、千葉県消費者団体連絡協議会と、上記の団体との懇談会がありました。基本的には千葉県内の電機小売店の方が中心ですが、東京電力やNHK、メーカー側の代表も参加されます。

昨年5月、この団体の大会に呼ばれたとき、「家庭の中に入られる電気屋さんに、高齢者が被害に合うオレオレ詐欺や還付金詐欺にかからない様に、一声かけていただきたい」と話しました。

その後、我孫子の電気屋さんが実行して下さっている事を知りましたので、昨日はお礼を申しあげました。全国の団体として警察署からの要望もあって実施しているそうです。その中でも千葉県は実施件数が一番だったとか。

電機屋さんからは「お風呂が付かないと電話があり行って見ると壊れていない。何度も同じ事を言われて、認知症では？と思うが、包括支援センターに連絡すべきか迷う」という悩みも話されました。町を走り回るので、溜まっている新聞や、雨戸が長い間空いていない家などを見かけたときの通報は、協力しているなどのお話もありました。超高齢社会のこれからは町ぐるみの活動が必要ですねと確認しました。

太陽光発電の買取中止を先月書きましたが、これは東京電力でなく、東北電力でした。

東京電力には、このようなことをしないよう強く求めました。東京電力は「しない」と。

自動掃除機の宣伝があるが、電気屋さんは「私は勧めない。同じところを何度も回ったりして、結局は電力多使用になる」と。「メーカーは一生懸命技術開発をし、できると売れるものを作り売りたいがるが、消費者も賢くなって欲しい」とも。社会全体のことをもっと考える必要がありますね。

蓄電の技術はどこまで進んでいるか？に対し、「車の蓄電池はあるのだから、もっと開発されるべき。価格との折り合いが問題かも」と。

NHKの放送に対する注文や、テレビの4K、8Kなど、技術の先取り商品の疑問など、今回の懇談会の話題は豊富でした。家電リサイクル、小型家電のリサイクルにも電気屋さんがきっちりと向き合っていて欲しいと、注文もつけました。

添加物は遺伝子組換えの時代

食品表示が6月から変わるので、少しでも消費者にとって良い表示にしたいと、2年前から神山美智子弁護士が代表の「食品表示ネットワーク」に参加、勉強しながら、消費者庁等に要望書を出したりしてきました。そこで、この頃の食品添加物はどんどん遺伝子組換えで作られていることがわかって来ました。審査する厚生労働省の委員会はほとんど素通りです。

機能性食品表示のパブリックコメント説明会でも、反対の我々のグループは、質問しようと手を上げて指名してくれません。だんだん民主主義の危うさが際立ってきています。地道に運動を続けるしかありませんが……。やめたら、あちら側の思う壺でしょうから。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

この冬は厳しい寒さでしたが、もうすぐ春ですね。ベランダの君子蘭やシンビジウムの花芽が大きくなってきました。お元気で！！

